

## 令和3年度水道事業会計決算について

水道は市民生活に直結するライフラインであり、都市の発展を支えるインフラとしても重要な役割を担っています。

長期的な人口減少期に入った今、厳しい経営環境が続きますが、安全で良質な水道水を安定してお届けできるよう水道施設の耐震化をさらに進め、給水サービスの向上に努めていきます。

### 給水状況

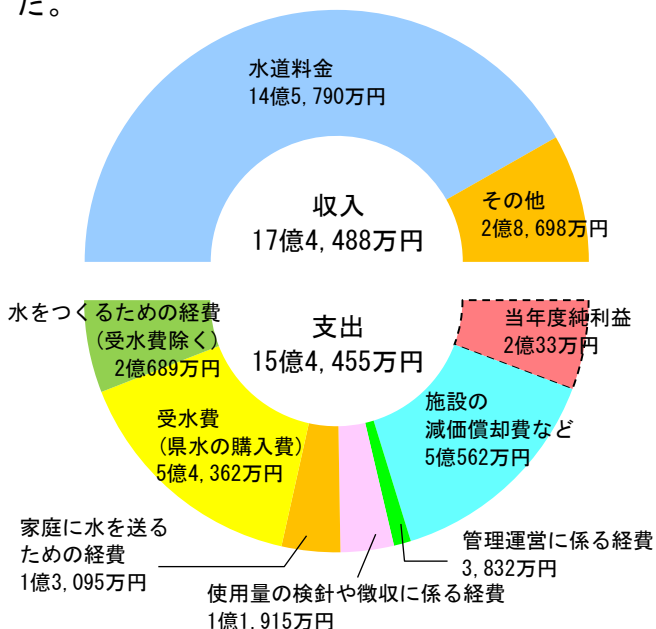
昨年度と比べ、水を送った件数は135件増えましたが、年間の給水量は17万7,831m<sup>3</sup>減り、水を使った人数も883人減りました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一般営業用などの給水量は減少したままで、前年度には増加した一般家庭用の給水量が減少しました。

項目		令和3年度	令和2年度	増減	比率(%)
行政区域内人口(人)	A	75,233	76,121	△ 888	98.8
給水区域内人口(人)	B	75,171	76,052	△ 881	98.8
年度末給水人口(人)	C	75,121	76,004	△ 883	98.8
年度末給水件数(件)		34,621	34,486	135	100.4
行政区域内普及率(%)	C/A	99.9	99.8	0.1	100.1
給水区域内普及率(%)	C/B	99.9	99.9	0.0	100.0
年間給水量(m <sup>3</sup> )		9,352,936	9,530,767	△ 177,831	98.1

### 経営活動に伴う収入と支出（損益収支のため消費税等抜き表示）

収入では、昨年度に新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の減免を実施したため、今年度は水道料金が4億4,849万円増加し、総額17億4,488万円となりました。

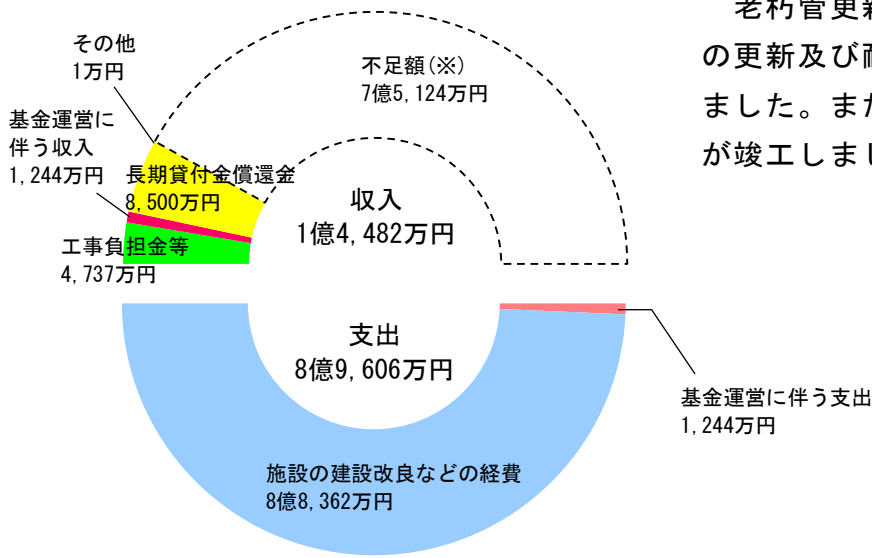


支出では、固定資産除却費が減少しましたが、昨年度に県企業庁による県水料金の一部免除が実施されたため、今年度は受水費が増加し、総額15億4,455万円となりました。

その結果、収支は2億33万円の黒字となりました。

なお、本市水道事業は、平成28年度に借入金を全て償還し、無借金経営による健全財政を堅持しています。

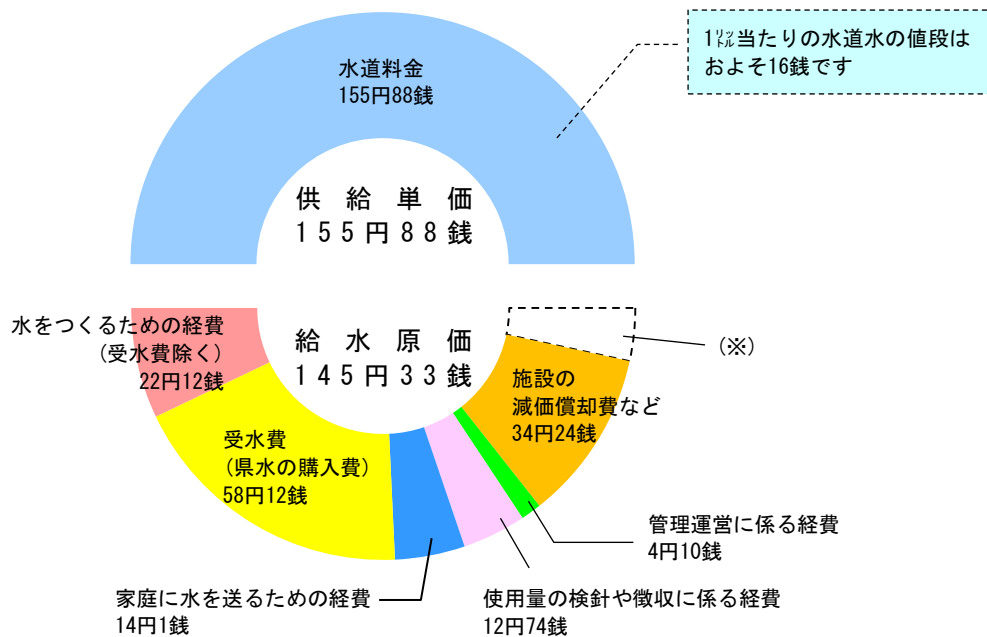
施設整備に要する収入と支出（資本収支のため消費税等込み表示）



老朽管更新工事に併せた主要管路の更新及び耐震化を計画的に実施しました。また、西部浄水場改修工事が竣工しました。

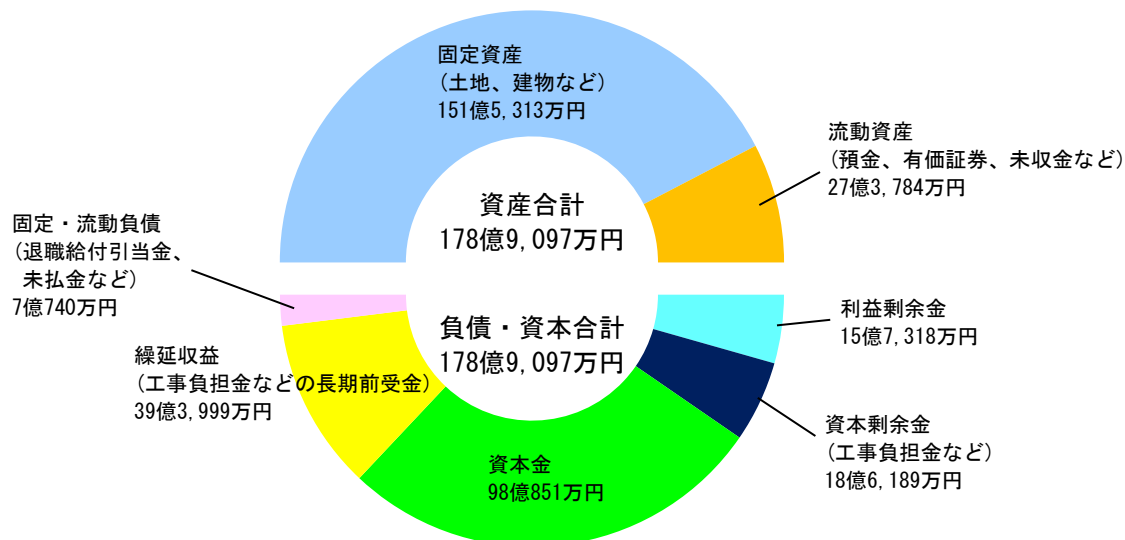
※不足額は施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

供給単価と給水原価（1m<sup>3</sup>(=1,000ℓ)当たり、消費税等抜き表示）



※本年度は供給単価が給水原価を上回り、料金収入で給水に必要な費用が賄われました。

## 貸借対照表（令和4年3月31日現在）

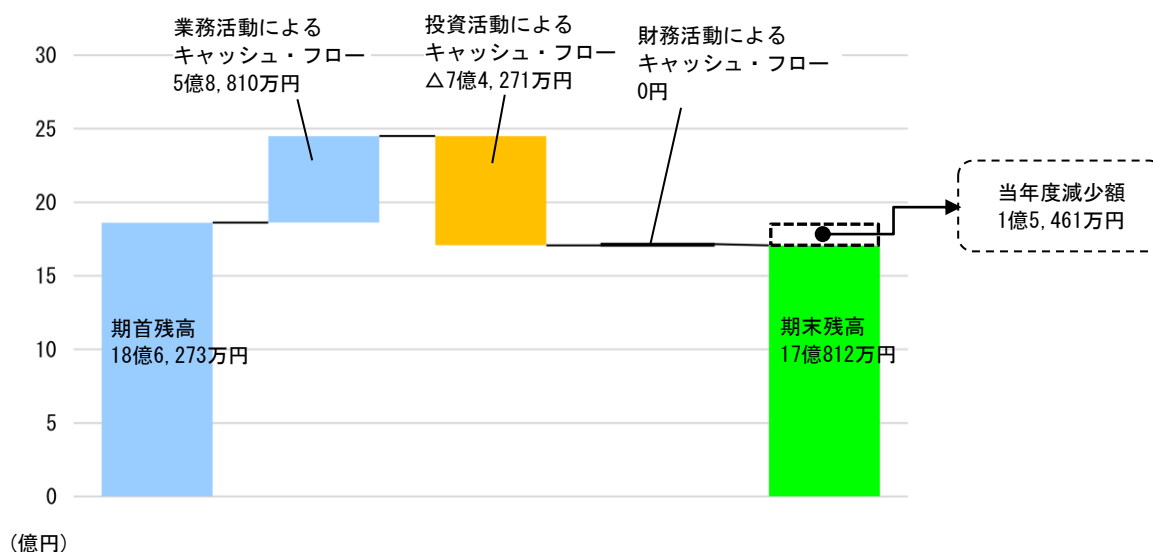


## キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローは現金（キャッシュ）の流れや増減を把握するものです。

「業務活動」によりキャッシュを増やし、設備投資などの「投資活動」や、借り入れた借金の返済などの「財務活動」を行うことでキャッシュが減少します。

本年度は、1億5,461万円のキャッシュが減少し、本年度末のキャッシュ残高は17億812万円となりました。



- ※業務活動：投資活動及び財務活動以外の通常の事業活動によるもの
- ※投資活動：固定資産の取得や売却、投資資産の取得や売却など
- ※財務活動：資金の調達や返済